

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立戸板小学校

①児童アンケート

(1) 英語科(小学校5年生:令和8年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	30.0	29.0	28.0	14.0	0
問2	英語科の勉強は大切だ。	78.0	17.0	3.0	2.0	0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	48.0	43.0	8.0	2.0	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	25.0	48.0	20.0	6.0	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	30.0	47.0	20.0	4.0	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	84.0	11.0	4.0	0.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	83.0	14.0	3.0	0.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	73.0	20.0	6.0	1.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	43.0	38.0	15.0	4.0	0.0

(2) デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	62.0%	24.1%	9.9%	3.4%	0.5%
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	62.7%	24.8%	9.8%	2.6%	0.1%
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	63.7%	22.0%	12.4%	1.6%	0.3%

②指導改善の具体策

<p>【英語科】 ・英語の勉強が大切だと感じている児童の割合は高いが、英語の勉強は好きだという肯定的な回答はやや低い。児童が英語を使ったコミュニケーションや発表を楽しみ感じられるように、英語を通して相手を知る喜びを感じられる単元を設定し、単元ごとの目的意識を明確にし児童と共有していく。</p> <p>【デジタル科】 ・肯定的回答が8割を超える一方、問3の「深く広い学習へのICT活用」で「どちらとも言えない」が最多の12.4%である。今後は、各教科の探究学習や調べ学習において、児童が主体的にICTを活用する場面を増やしていく。</p>

③学校関係者評価

<p>英語科は重要性の認識や定着度に比べ「好き」と答える割合が低いため、目的意識を持たせた単元設定など、楽しさを実感できる授業改善に期待する。デジタル科は高い肯定感を示す一方、探究学習等での深化に課題が見られる。今後は各教科で主体的にICTを活用する場面を意図的に増やし、深い学びへ繋げていってほしい。また、これらの取り組みを家庭や地域へ積極的に発信し、理解と協力を得ていくことが大切である。</p>
